

朝倉市地域強靱化計画【概要版】

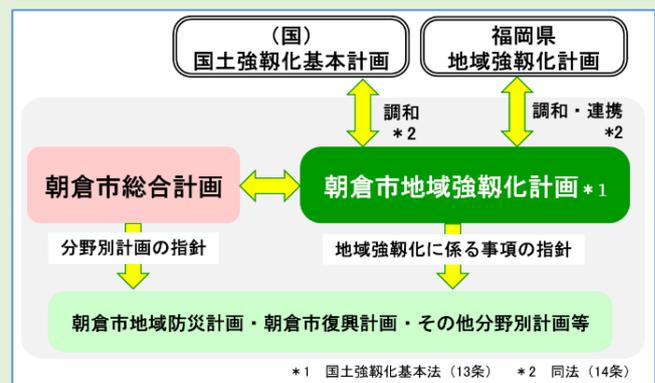
1 地域強靱化の基本的な考え方

(1) 策定趣旨

- 平成 25 年 12 月：国が「強しなやかな国民生活の実現を図るための防災・減災等に資する国土強靱化基本法」を公布・施行
 - 平成 26 年 6 月／平成 30 年 12 月：国が「国土強靱化基本計画」を閣議決定・改定
 - 平成 28 年 3 月／令和元年 6 月：福岡県が「福岡県地域強靱化計画」を策定・改定
- ▼
- 国や県の動向を踏まえて、現在の取組をさらに推進し、大規模自然災害が起こっても機能不全に陥らず、より強く、しなやかな地域社会の構築を目指して、朝倉市の強靱化に関する指針となる朝倉市地域強靱化計画を策定

(2) 計画の位置付け／めざすべき市の姿

- 本計画は、国土強靱化基本法第 13 条の規定に基づく国土強靱化地域計画であり、国基本計画及び県地域計画との調和を図りつつ、本市の総合的な指針である「第 2 次朝倉市総合計画」との整合を図りながら、本市における国土強靱化に関する施策を総合的かつ計画的に推進するための指針として位置付ける。
- 本計画では、第 2 次朝倉市総合計画における将来像の実現に向けて、地域強靱化の観点から、強く、しなやかな地域づくりを目指す。



まちの将来像：「人、自然、歴史が織りなす 水ひかる 朝倉」

(3) 基本目標

- ① 人命の保護が最大限図られること
- ② 社会の重要な機能が致命的な被害を受けずに維持されること
- ③ 市民の財産及び公共施設に係る被害の最小化
- ④ 迅速な復旧復興

(4) 対象とする大規模災害（リスク）

- ① 警固断層帯を震源とした地震災害
- ② 大規模な風水害

(5) 事前に備えるべき目標

- ① 直接死を最大限防ぐ
- ② 救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する
- ③ 必要不可欠な行政機能を確保する
- ④ 必要不可欠な情報通信機能・情報サービスを確保する
- ⑤ ライフライン、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる
- ⑥ 経済活動を機能不全に陥らせない
- ⑦ 制御不能な複合災害・二次災害を発生させない
- ⑧ 社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する

(6) 計画期間

- 計画期間は、令和 3 年度から令和 8 年度までの 6 年間。2 期目以降は市総合計画の計画期間と合わせる。

2 リスクシナリオ及び脆弱性評価に基づく課題

(1) リスクシナリオの設定

- 国土強靱化基本法では、「起きてはならない最悪の事態」（リスクシナリオ）を想定した上で、脆弱性評価を行うこととしている。
- このリスクシナリオに関しては、国の基本計画及び県計画を踏まえ、26項目を設定している。

(2) 脆弱性評価に基づく課題

- 各施策の方向性に共通する課題
 - ①ハード対策とソフト対策の適切な組み合わせが必要
 - ②代替性・冗長性等の確保が必要
 - ③各主体との連携が必要
 - ④地域強靱化に向けた継続的な取組みが必要

3 地域強靱化の推進方針

(1) 推進すべき施策の方針

- 事前に備えるべき目標に基づき、その妨げとなる「起きてはならない最悪の事態（リスクシナリオ）」ごとに、推進する施策を設定し、取り組んでいく。
- 限られた資源と財源の中で、強靱化の取り組みを効率的・効果的に推進していくため、重点的に取り組むべき「起きてはならない最悪の事態」17項目を選定し、優先的に取り組んでいく（次表中の着色している項目を参照）。

事前に備えるべき目標		起きてはならない最悪の事態 【リスクシナリオ】		主な取組
1	直接死を最大限防ぐ	1-1	地震に起因する建物・交通施設の大規模な倒壊・火災等による多数の死傷者の発生	住宅、特定建築物の耐震化 学校施設及び公共施設の耐震化 応急危険度判定体制の整備 公営住宅、住環境等の整備 防災拠点施設整備 等
		1-2	水害による多数の死傷者の発生	大型台風を想定したタイムラインの運用 激甚な水害発生地域の集中的な災害対策 ハザードマップの作成 適時適切な避難勧告等の発令 等
		1-3	洪水及び広域かつ大規模な浸水による多数の死傷者の発生	気候変動を踏まえた治水対策 新技術等を活用した災害対策の構築 下水道による浸水対策 水害対応タイムラインの策定 等
		1-4	大規模な土砂災害等による多数の死傷者の発生	再度災害防止対策の集中的実施 人家や施設等を守る土砂災害対策 治山施設の整備 等
		1-5	情報伝達の不備や防災リテラシー教育の不足、深刻な交通渋滞等に起因する避難の遅れによる多数の死傷者の発生	ハザードマップの作成、避難体制の強化 避難行動要支援者の避難支援 防災教育の推進 避難行動等の教訓の広報啓発 情報伝達手段の整備 等

事前に備えるべき目標		起きてはならない最悪の事態 【リスクシナリオ】		主な取組
2	救助・救急、医療活動等が迅速に行われるとともに、被災者等の健康・避難生活環境を確実に確保する	2-1	被災地における水・食料・電力・燃料等、生命に関わる物資・エネルギー供給の長期停止	自助、共助、公助による備蓄の促進 水源の確保 等
		2-2	警察、消防等の被災による救助・救急活動の停滞	自主防災組織の充実強化 等
		2-3	大量かつ長期の帰宅困難者の発生、混乱	帰宅困難者に対する支援
		2-4	被災地における医療機能の麻痺	避難所・現場救護所の JMAT による医療支援
		2-5	被災地における疫病・感染症の大規模発生	疫病・感染症のまん延防止
		2-6	劣悪な避難生活環境、不十分な健康管理による多数の被災者の健康状態の悪化・死者の発生	健康管理体制の構築 福祉避難所の設置・運営 等
3	必要不可欠な行政機能は確保する	3-1	行政機関の職員・施設の被災、関係機関間の連携・支援体制の不備による行政機能の大幅な低下	業務継続体制の確保 各種防災訓練の実施 受援体制の確保 防災拠点となる公共施設の整備 等
4	必要不可欠な情報通信機能・情報サービスは確保する	4-1	情報通信・放送ネットワークの麻痺・長期停止等による災害・防災情報の伝達不能	災害・防災情報の利用者による対策促進 防災情報通信基盤の整備 等
5	ライフライン、交通ネットワーク等の被害を最小限に留めるとともに、早期に復旧させる	5-1	上水道等の長期にわたる供給停止	水道施設の耐震化及び水道の広域連携推進 水道施設の広域的整備
		5-2	汚水処理施設等の長期にわたる機能停止	下水道施設の耐震化 汚泥再生処理施設の整備 等
		5-3	交通インフラの長期にわたる機能停止	道路橋梁の耐震対策 道路啓開体制の強化 生活道路の整備 等
		5-4	防災インフラの長期にわたる機能不全	道路施設の老朽化対策 河川施設の老朽化対策 治山施設の老朽化対策 等
6	経済活動を機能不全に陥らせない	6-1	サプライチェーンの寸断、風評被害等による経済活動の機能不全	商工業者への事業継続支援 代替性確保や信頼性を高める道路整備
		6-2	食料等の安定供給の停滞	農地の防災・減災対策 農業水利施設の老朽化対策 農道・林道の整備、保全 等

事前に備えるべき目標		起きてはならない最悪の事態 【リスクシナリオ】		主な取組
7	制御不能な複合災害・二次災害を発生させない	7-1	ため池、防災インフラ等の損壊・機能不全や堆積した土砂等の流出による多数の死傷者の発生	ため池の防災・減災対策 土砂災害対策の推進 等
		7-2	有害物質の大規模な流出・拡散による被害の拡大	大気汚染物質、水質汚濁状況等の常時監視 光化学オキシダントに係る緊急時の対応 微小粒子状物質の注意喚起時の対応
		7-3	農地・森林等の被害による地域の荒廃	地域における農地・農業水利施設等の保全 荒廃農地対策 森林の整備・保全 等
8	社会・経済が迅速かつ従前より強靱な姿で復興できる条件を整備する	8-1	災害廃棄物の処理停滞による復旧・復興の大幅な遅れ	災害廃棄物処理体制の整備 災害発生土砂処理体制の整備
		8-2	復旧を支える人材等の不足、より良い復興に向けたビジョンの欠如等により復興できなくなる事態	復旧担当職員等の育成 迅速な応急・災害復旧 復旧・復興に係る事業者との協力関係の構築 災害ボランティア活動の強化 等
		8-3	貴重な文化財や環境的資産の喪失、コミュニティの崩壊等による有形・無形の文化の衰退・喪失	被災者等支援制度の周知 貴重な文化財の喪失への対策
		8-4	事業用地の確保、仮設住宅・仮店舗・仮事業所等の整備が進まず復興が大幅に遅れる事態	建設型応急仮設住宅の供給体制の整備 借上型応急仮設住宅等の提供体制の整備

※上記の着色している項目は、重点的に取組む項目

(2) 施策の推進とPDCAサイクル

- 計画の推進にあたっては、庁内の横断的な体制のもと、必要に応じて国、県、自主防災組織、民間事業者、NPO、市民等と連携・協力しながら進めていく必要がある。
- 本計画を効率的かつ効果的に推進するため、施策の進捗状況を把握し、今後発生する災害の検証も加えながら、必要に応じて見直し（改善）を図ることが重要。そのため、PDCA サイクル（Plan:計画、Do:実行、Check:評価、Action:改善）を繰り返して、取組みを推進する。
- 社会経済情勢の変化や、国、県及び本市を通じた国土強靱化施策の推進状況等を勘案するとともに、総合計画や地域防災計画等の見直し等に併せて、必要に応じて計画の見直しを行う。